

第347回

# 日文研フォーラム

International Research Center for Japanese Studies  
The 347th Nichibunken Forum

## 高度経済成長期の日本とテレビ

講師 五十嵐恵邦

バンダービルト大学（アメリカ）教授／日文研 外国人研究員

コメンテーター 山田奨治 日文研教授

司会 安井眞奈美 日文研教授

2023年5月9日 18時30分～20時30分（開場18時10分頃）

場所…ハートピア京都 3階 大会議室 申込要・定員70名（抽選による）**入場無料**

主催…大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

※新型コロナウイルス感染症の「5類」変更に伴い、会場定員を変更する場合がございます。最新情報は、日文研WEBサイトをご確認ください。

差し色の名前…●紺碧（こんぺき）、●紅梅色（こうばいしき）

日文研フォーラムとは  
 国際日本文化研究センター(日文研)に滞在中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、交流の助となることを主な目的とする催しです。1987年の設立以来、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

## Television and Japan Under the High-Growth Economy 高度経済成長期の日本とテレビ

発売当初、高額な憧れの家電品として注目を集めたテレビは、高度経済成長下の日本社会で急速に普及し、日常生活の中で当たり前のモノになりました。その結果、リビングにテレビが居座っているのはごく普通の光景となり、その意味について深く考えられることはあまりなかったように思われます。今回のフォーラムでは、いくつかの事例を通して、テレビがまだ目新しかった頃の視聴者の反応を検証し、このメディアがどのように日本の日常生活を作り変えていったのかについて考えます。



**講師 五十嵐 恵邦** バンダービルト大学(アメリカ) 教授/日文研 外国人研究員

1989年 カリフォルニア大学歴史学修士。1994年 シカゴ大学歴史学博士。2016年よりバンダービルト大学歴史学教授。2022年6月より国際日本学研究中心外国人研究員併任。専門分野は日本近現代史、文化史。主要著作に *Japan, 1972: Visions of Masculinity in an Age of Mass Consumerism*. Columbia University Press, 2021、『敗戦と戦後のあいだで:遅れて帰る者たち』(筑摩書房、2012)(=英語版 *Homecomings: The Belated Return of Japan's Lost Soldiers*. Columbia University Press, 2016)、『敗戦の記憶:身体・文化・物語1945-1970』(中央公論新社、2007)(=英語版 *Bodies of Memory: Narratives of War in Postwar Japanese Culture, 1945-1970*. Princeton University Press, 2000) などがある。



**コメンテーター 山田 奨治** 日文研 教授

1988年 筑波大学大学院修士課程医科学研究科修了。1998年 京都大学博士(工学)。1988年 日本アイビーエム株式会社勤務。1992年 筑波技術短期大学助手。1996年 国際日本文化研究センター助教授。2011年 同教授。専門分野は情報学、文化交流史。主要著作に、『著作権は文化を発展させるのか:人権と文化コモンズ』(人文書院、2021)、『東京ブギウギと鈴木大拙』(人文書院、2015)、『日本の著作権はなぜこんなに厳しいのか』(人文書院、2011)、『<海賊版>の思想:18世紀英国の永久コピーライト闘争』(みすず書房、2007)、『禅という名の日本丸』(弘文堂、2005) などがある。

### 申込方法

- ①催し物名 ②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号(日中ご連絡がとれるもの)を明記のうえ、ウェブフォームまたはハガキのいずれかにてお申込ください。申込者多数の場合は、抽選を行います。
- 申込期日は令和5年4月17日(月) 正午必着。
- 結果は当落にかかわらず令和5年4月25日頃ハガキにてお知らせいたします。
- 複数名で参加希望の場合は、全員の必要事項(①催し物名 ②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号(日中ご連絡がとれるもの))が必要です。

ウェブフォームの場合: <https://forms.office.com/r/Us166qpSJE>

ハガキの場合: 〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町 3-2

国際日本文化研究センター研究協力課「日文研フォーラム」担当宛

※お申込の為お預かりした個人情報は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構が主催する催し物のご案内のみに使用します。

メール申込用  
QRコード画面



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

#### 【アクセス】

- 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車 5 番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- 京都市バス、京都バス、JR バス「烏丸丸太町」バス停下車

### お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課  
 〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町 3-2  
 TEL: 075-335-2078  
 E-mail: [forum@nichibun.ac.jp](mailto:forum@nichibun.ac.jp)  
<https://www.nichibun.ac.jp/>



次回 第348回

## 日文研フォーラム

9月19日の予定です。詳細が決まり次第、日文研 HP にてお知らせいたします。